

総社市職員ら 豪雨被災りオへ

総社市と国際医療NGO「AMDA」(本部・岡山市北区)は17日、台風による大雨被害が発生し、多くの死者が出ているブラジル南東部リオデジャネイロ州に、調整員として

同市嘱託職員でブラジル・サンパウロ州出身の譚た俊偉さん(37)と、本部職員の看護師・石岡未和さん(30)を現地に派遣すると発表した。

2人は18日に岡山を出発し、2月1日に帰国するまでの約2週間、現地の被

災状況を確認し、地元の医療関係者やNPOなどを訪問。医師の派遣や物資の供給など具体的な支援内容について協議を進める。

譚さんは、市内在住ブラジル人の現地にいる親戚らの安否を確認するほか、被害が大きい地域に入り、石岡さんの通訳や案内役などをする。

17日、総社市役所で記者会見があり、譚さんは「活動を通じて、総社市民とブラジルとの友好関係を深め

たい」と話した。

ブラジル人居住者が427人(昨年末現在)と県内最多の総社市は2009年6月、AMDAと国際支援活動で連携する「多文化共生に関する協定」を締結。同協定に基づき、AMDA側が片岡聡一市長に相談し、ポルトガル語が堪能で現地の地理に詳しい譚さんの派遣を決めた。